

# ひろばちがさき

No. 926

新政ちがさき

2011年6月11日

茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1市役所内0467 (82) 1111

新政ちがさき有志  
岸 正 明 87-8766  
こいそ妙子 52-6731  
和 田 清 67-5980  
よしかわ和夫 86-0032  
西田 淳一 83-7293

## 第2回定例市議会 始まる、6日(月)～ !!

初日の一般質問で、西田淳一議員が下記2項目について市長に見解を質しました。  
主なやりとりは以下のとおりです（西＝西田議員、市＝市長）。

### 1. 市役所本庁舎再整備基本方針について

西： 市役所建替方針が市民に十分周知されていると言い難い状況なのは残念。市長選挙で60%の市民が建替反対派候補に投票したことは、当市の民意が本庁舎建替に賛成でないことを示した結果と考えるが、市長はどう受け止めているか

市： 投票結果は服部市政2期8年の実績評価であり、本庁舎建替だけが争点ではなく、市政に対する考え方を総合的に判断してもらったと認識している

西： 経済状況悪化により市財政は厳しい状況下であり、最優先課題の津波・地震対策に多額の予算計上が見込まれる中、それでも市は過大な財政支出を伴う建替に固執するのか。コストが半分で済む制震補強工法による耐震改修への方針転換を強く求める

市： 制震補強では建物が狭隘化するなど市民の利便性が損なわれ、災害拠点としても十分と言えない問題がある。市役所建替方針を変更する考えはない

西： 市は民意を最大限尊重すべき、建替方針の撤回を検討することを求める

### 2. 市の津波対策について

西： 東日本大震災後に津波被害の不安が広がっている状況下で、市の津波ハザードマップ改訂版の公表はいつ頃になるか。藤沢市や平塚市では独自に津波被害予測など対策強化を進めていると聞くが、茅ヶ崎市は遅れていないか

市： 県の津波浸水予測図改訂版の公表が今年度内との見通しなので、市の津波ハザードマップ改訂も基準となる県の津波被害想定見直しが公表された後になる。当市の津波防災強化策について現時点で具体案はなく、出来ることから着手していきたい

西： 津波緊急一時避難場所としてビル・マンション等津波協定締結先の拡充を急ぐよう要望する一方、「津波避難タワー」整備にも取り組んで欲しいが実現性について市の考えは

市： 津波協定締結先については順次拡充を進めている。「津波避難タワー」整備は現在考えていないが、今後、先進自治体における調査を考えたい

市役所建替について、大震災後に建替の合理性を市民と共に考えるという市の姿勢は感じられず、国の基準に従っているの一点張り、はじめに建替ありきかと。津波被害予測策定という市民の命に関わる最重要課題も、市は何だかんだと後回し。市役所建替方針の撤回と津波・地震対策の強化は、実は表裏一体の関係にあります。建替をやめて耐震改修で済ませれば、節減した財政支出を津波・地震対策強化の財源に振り向けることができるからです。今後も市の対応を監視してまいります。